

令和6年度 鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進事業

登山キャンプ

(公益財団法人スポーツ安全協会のスポーツ活動等普及奨励助成事業)

- 1 趣 旨 登山を通して、豊かな情操や自ら考える力などの力を培い、青少年の自立を支援する。
- 2 主 催 国立大隅青少年自然の家
(企画・運営：鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会)
- 3 後 援 国立大学法人鹿屋体育大学、鹿児島県教育委員会
- 4 協 力 霧島山岳会
- 5 期 日 令和6年11月2日(土)～4日(月) 2泊3日
- 6 参加対象 小学5年生～中学生
- 7 募集定員 20人
- 8 参加者 21人(申し込み：54人)
- 9 指導者 霧島山岳会2人
国立大隅青少年自然の家職員4人、法人ボランティア3人
- 10 日 程



11月2日(土)	11月3日(日)	11月4日(月)
10:30 受付	5:00 起床・朝食・テント片付け	6:00 起床・朝食・テント片付け
11:00 開講式	7:20 登山	8:00 登山
11:15 チームビルディング	(御岳登山口～妻岳分岐 ～大笹柄岳)	(妻岳分岐～御岳登山口)
12:00 昼食	昼食	11:00 昼食
13:00 パッキング、準備	16:00 テント泊準備	13:00 シャワー・片付け
16:00 テント泊準備	17:00 夕食	14:30 閉講式
17:00 夕食・シャワー	18:00 星空観察(妻岳山頂)	15:00 解散
20:00 就寝	20:00 就寝	

- 11 事業運営上の配慮
 - 実地踏査を入念に行い、様々なトラブルに対応できるよう準備を行った。
 - 登山に初挑戦の参加者が多かったため、少しでも荷物を軽減し安全に活動できるよう、事前に共用の水を山中へ運び入れた。
- 12 参加者の感想
 - ◇ 自分の力で最後まであきらめずに、頂上まで歩いて感動した。
 - ◇ 歩いている途中に自分の知らない植物を見たり、変わっていく山の景色を見たりして、自分はなんて素敵な地域にすんでいるのかと再認識できた。(特に夜景がきれいだった。)
 - ◇ 遠くから見た山は本当に高く、最後まで登れるか不安だったけど、友達と話しをしながら登っていたらあっという間に切り抜けることができて嬉しかった。
- 13 成果と課題(○成果、●課題)
 - グループ毎に物品を運搬することで、自分ができることを見付け、話し合い、行動し、相手を気遣う言葉掛けがされていた。
 - 参加者全員が登山を完走することができ、達成感を感じられていた。
 - 登山をする際の基本的なマナーについて事前に学ぶ時間が必要だった。

